

イエメンについての西側の道徳的偽善

【訳者注】イエメンでの米および西側の、“悪のための悪”ともいうべき残虐行為を、いかにしても庇うことはできない。そしてイエメンの人々が、慢性的に死に追いやられていくのを、これほど長い間知っていながら、西側のメディアは一切、これを報道しようとしない。これは間違いなく殺人幫助である。メディアは戦争犯罪共犯者として裁かれねばならない。フランクフルター・アルゲマイネのウドー・ウルフコッテ（故人）が告白したように、CIAの注文通りに記事を書くのも、CIAの注文取りに沈黙するのも、同じ犯罪である。

Jonathan Marshall

February 23, 2017

独占報道：西側の“人道主義的介入主義者”は、敵を非難することができるときには、流血の戦争を大声で騒ぎ立てるが、イエメンでのサウジアラビアのように、同盟国が虐殺を行っているときには沈黙している、とジョナサン・マーシャル報告している。



ほんの数か月前、介入主義者たちは、ジョージ・ソロスが“歴史的規模の人道主義的悲劇”と呼んでいたものに対する、ワシントンの軍事的反応（報復）を要求していた。それは反乱軍に占領されたアレッポ市の近郊の、ロシアとシリア政府の爆撃による“何百人という人々の殺戮と言われるもの”についての話であった。

<https://www.nybooks.com/articles/2016/11/10/on-bombing-aleppo/>

<http://lobelog.com/think-tanks-beg-give-us-war/>

Brookings 研究所の上席研究員で、元 New Republic の編集長 Leon Wieseltier は、オバマ

政権が「アレッポの悪に対して行動しない」のは、「アウシュヴィッツの悪」を容認するよ
うなものだと主張し、「我々の時代の最大の残虐に対する傍観者」であるとして弾劾した。

https://www.washingtonpost.com/opinions/aleppos-fall-is-obamas-failure/2016/12/15/5af72640-c30f-11e6-9a51cd56ea1c2bb7_story.html?utm_term=.0adb399dee7d

<https://youtu.be/togU0PaI41E> (2017年2月イエメンの飢餓)

だとすると、これだけ多くの同じ“人道主義的”な声が、イエメンのはるかにより多くの罪
のない人々が、最近ずっと、殺され続けていることについて、全く沈黙しているのは、何と
おかしいことではないか！ ここでは何万人もの市民が死に、1,200万の人々が飢餓に直面
している。1,000人以上の子供が、毎週、防止可能な病気によって死んでいる。これは栄養
不良と、サウジに導かれた軍事同盟による、この国の食糧インフラへの組織的攻撃によるも
のであり、彼らは全国民に、リアド（サウジの首都）政権への柔順さを押し付けようとして
いる。

<http://www.moonofalabama.org/2017/02/its-foreign-greed-and-delusion-that-kills-yemeni-children-.html> <http://www.smh.com.au/world/war-in-yemen-un-needs-billions-to-avert-famine-20170209-gu92mo.html>
<https://consortiumnews.com/2015/04/13/how-washington-adds-to-yemens-nightmare/>
<https://www.alaraby.co.uk/english/news/2016/12/6/yemenis-months-away-from-starving-to-death-says-oxfam>

「アメリカの沈黙は耳を聳せんばかりだ」と、去年の夏、“人権ウォッチ”の副ディレクタ
ー、Philippe Boloignon は言った。「この露骨なダブル・スタンダードは、シリアであろうと
世界のどこであろうと、人権侵害に立ち向かおうとするアメリカ人の努力を、完全に踏みに
じるものだ。」

ワシントンや他の大きな政府からの公的な黙認——またはもっと酷いもの——が、サウジ
アラビアやその同盟国の爆撃機による、イエメン市民の無慈悲な殺戮を助長している。先週、
彼らの爆弾が、イエメンの首都サナーの北に集まった葬式の会衆を攻撃し、9人の女性と1
人の子供を殺し、さらに数十人を負傷させた。

<http://www.reuters.com/article/us-yemen-security-idUSKBN15V0Q8>

その一日前には、公的な報告によると、恐ろしいダブル・タップ（同じ的を連続して撃つ）
の空襲があり、最初は、サナーの葬式で女性たちを襲撃し、次に、彼らは負傷者の救助に駆
け付けた医療班を狙った。国連の専門委員会は、10月のサウジ同盟軍による同じようなダ

ブル・タップ攻撃を非難したが、これは国際法を無視して、数百人の市民を殺し、または負傷させた事件だった。<https://www.alaraby.co.uk/english/news/2017/2/15/scores-killed-as-fresh-double-tap-airstrike-targets-yemen-funeral>

モカの悲劇

2月12日、紅海の港町モカへの空襲があり、ある母子介護センターの所長を先頭に、6人の家族全員が殺された。地上同盟軍が、2週間前にモカへの攻撃を始めていた。

マトリックスから自由になれ

<https://visitor.r20.constantcontact.com/d.jsp?llr=iqnuv6bab&p=oi&m=1101581137416&sit=mr9dynfcb&f=efc6d103-17c3-4940-b941-50c610e89267>

主流メディアの報道しない独占ニュースにアクセスせよ

新華社通信によると、「この戦闘はそれ以来さらに激しくなり、何千人もの市民居留者を市内に閉じ込め、生命にかかわる食糧や燃料を輸入しようとする、人道主義的活動を妨げた。…ジュネーブに本拠のある国連人権事務所は、市民と市民の施設が、この港湾都市の南西部で、過去2週間にわたって攻撃の対象になっているという、極端に憂慮すべき報告を受けていると言った。…国連の受け取った報告はまた、200以上の家屋が、過去2週間の間に爆撃によって、部分的または完全に破壊されていることを示している。

http://news.xinhuanet.com/english/2017-02/13/c_136051284.htm

国連の人道主義責任担当者は、さらに“何十人という市民”がモカの爆撃と砲撃によって殺され、または負傷し、居住者たちは水も、他の基本的な生命維持資源の供給もなく、立ち往生している、と報告している。https://www.yahoo.com/news/yemen-loyalists-retake-historic-port-mokha-spokesman-111750227.html?soc_src=mail&soc_trk=ma

これはアレッポと似ているとも言える。ただ、アメリカのテレビに映る、涙を絞らせる、死んだり傷ついたりした子供たちの写真がない。しかしシリアとは違って、イエメンの反乱軍は、西側の首都に、財政の豊かな宣伝のオフィスをもたない。彼らはアメリカや、民主主義や、国際的人権などにリップサービスをしない。彼らの敵サウジアラビアは、ワシントンの味方であって、昔から敵だったわけではない。その結果、アメリカの有識者で、サウジの率いる連合軍に対して、道徳的な憤慨を表明する者は少ない——多くの空爆は国際法違反であり、ある場合には“戦争犯罪”だとする、国連専門委員会の裁定にもかかわらず。

<http://www.alternet.org/world/one-nastiest-wars-recent-history-raging-yemen-and-us-heavily-involved-it>

援助と扇動

アメリカは、このような犯罪に、単に知らないふりをしているのではない。アメリカは、サウジが飛ばす爆撃機や、イエメン市民の上に落とす弾薬をサウジに売りつけて、彼らを援助している。それはまた、5,400万ポンドのジェット燃料を、爆撃に出撃する連合軍の航空機に補給するためにサイフォン（空中）輸送している。アメリカの燃料補給行動のペースは、昨年、急速に増大したと報告されている。

<http://www.military.com/daily-news/2017/02/15/2-years-yemen-war-us-ramps-up-refueling-saudi-jets.html#.WKOlzstb7GU.twitter>

オバマ政権はもともと、リアドの不承不承の、イランとの核取引への支持を買うために、サウジ連合軍を支持していた。時を経て、サウジアラビアは反イラン・タカ派に加わり、戦争継続への支持を正当化するために、イエメンの抵抗軍をテヘランの手先だと決めつけた。ほとんどの専門家は——アメリカの情報局員を含めて——抵抗軍は純粋にこの土地の軍隊であって、イランの支持はあっても限られたものだと主張している。

http://www.huffingtonpost.com/2015/04/20/iran-houthis-yemen_n_7101456.html

私がこれまでに文書記録したように、イエメンにおけるすべての戦闘は、アルカーイダ過激派を助長する無政府状態をつくり出すことによって、アメリカの利益を損じている。彼らは、西側に対する大きなテロ行為を計画し鼓吹しており、2009年の米旅客機爆破未遂事件、2015年1月の、パリの新聞シャルリ・エブド襲撃事件もそこに含まれる。サウジ政府は、イランを抑えるという名目で、彼らを、抵抗軍に対するスンニ連合軍として許容している。

<https://consortiumnews.com/2016/02/25/how-us-helps-al-qaeda-in-yemen/>

<http://www.aljazeera.com/news/middleeast/2015/01/al-qaeda-yemen-charlie-hebdo-paris-attacks-201511410323361511.html>

オバマ政府はなくなったが、トランプ政府は、イエメンを通じてテヘランに敵対し、“テロ”に厳しい態度をとるイデオログたちに取り囲まれている。就任から数日で、トランプ大統領は、中央イエメンのアルカーイダ陣営といわれるものへの奇襲攻撃を承認したが、これはうまくいかず、推定10人の女性や子供を殺した。この政権はまた、米駆逐艦を転回させてイエメンの海岸をパトロールさせた。 <http://foreignpolicy.com/2017/02/03/yemen-is-the-first-battleground-in-trumps-confrontation-with-iran/>

<http://uk.reuters.com/article/uk-usa-yemen-qaeda-idUKKBN15D094>

国務省報道官によれば、国務長官レックス・ティラーソンは、自分の名誉のために、「イエ

メン全土に、人道的援助を惜しまず行き渡らせる緊急の必要がある」と言った。しかし、どれほど人道援助をしても、苦しめられたイエメンの人々を、アメリカ製の爆撃機からアメリカの爆弾を落とす攻撃から救うことはできない——ワシントンのいわゆる“人道主義的介入主義者”からの抗議がない限りは。 <http://www.dailystar.com.lb/News/Middle-East/2017/Feb-16/393857-us-tillerson-backs-un-led-yemen-process-wants-unfettered-aid.ashx>

(ジョナサン・マーシャルは、武器や武装の問題について、最近、多くの論文を書いており、“Obama’s Unkept Promise on Nuclear War,” “How World War III Could Start,” “NATO’s Provocative Anti-Russian Moves,” “Escalations in a New Cold War,” それに “Ticking Closer to Midnight” などがある。)